

浅川地区住民自治協議会だより

浅 せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 70 号

発行日 令和元年 9 月 30 日

発行人 山崎 智 功

2019 年度 「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」 開催される

毎年 7 月は、犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受入れることが自然にできる社会を築くことを目標にした「社会を明るくする運動」強調月間です。

浅川地区では、7 月 28 日（日）住民自治協議会・社会福祉協議会・青少年育成委員会・防犯協会・育成会・保護司会・更生保護女性会・少年警察ボランティア協会で構成する実行委員会主催で「住民のつどい」が開催され 130 名余が出席し、浅川小学校児童の発表や、講話、講演に熱心に聴き入りました。

最初に浅川小学校の 4 年生、5 年生の標語と 6 年生の作文の発表がありました。（※標語及び作文の題名は次頁の通り）



【標語・作文の発表～ありがとう！】

若槻大通り交番の倉島主任の「浅川地区における最近の犯罪情勢について」の講話では、最近浅川地区で連続して発生した空き巣被害の犯人が逮捕され、複数人による犯行であったこと、また架空請求・オレオレ詐欺が 8 割を占める特殊詐欺が一向に減っていないことなどが報告され、改めて注意喚起がなされました。

今年の講演は、講師に松本少年刑務所の統括矯正処遇官の市村安敏さんを迎えて、「“塀の中の中学校” について」と題してお話をいただきました。



【講演 松本少年刑務所 市村先生】

松本市立旭町中学校桐分校は 1950（昭和 25）年に全国で唯一の矯正施設内にある公立中学校として松本少年刑務所の中に開校されました。1953（昭和 28）年当時、松本少年刑務所に収容中の少年受刑者のうち約 8 割が新制度義務教育を終えていなかった事実があり、就学機会の低い者ほど犯罪に走る傾向があったことが設立された背景にあります。

1965（昭和 40）年代までは 20 歳前後の生徒が多かったのですが、現在では 50～60 歳代で入学する者もいます。刑務所での生活態度が良好で学習意欲があることなどを条件に、全国の受刑者から選ばれた義務教育未修了者が中学 3 年生に編入され在学期間は 1 年間、更生の一環としてここで学習しています。



講演では、桐分校の歩んできた歴史と更生に向けた取り組みが紹介され、昨年 SBC ニュースワイドの特集で報じられた、20 代と 50 代の 2 人の生徒の入学から卒業までの 1 年を追ったドキュメンタリーが上映されました。1 年間、夏休みも冬休みもなく週 35 時間の授業を受け、夜間は 7 時から 10 時まで自学自習する 2 人の生徒たち。卒業式には「二度とお前たちとは会わない」と厳しくも温かく送り出す先生と抱き合っ別れる 2 人の姿に涙をぬぐう参加者も見られました。



【熱心に聴き入る参加者のみなさん】

桐分校の歩みは昭和35年から平成20年まで教師を務められた角谷敏夫先生が「塀の中の中学校」という本に書かれ、映画化もされましたのでご覧になった方もおられるかと思います。その本の中で先生は「1年間の桐分校生活の中で彼らは生きる力を養っていきました。彼らは学んで気づき、目覚めていきました。これまでの人生の軌道を修正する道を、更生の道を、自分の生きる道を探していました。桐分校は犯罪の道から更生の道への架け橋なのです。」と述べています。深い感動をもたらした講演となりました。

なお、機器の不具合により映像の前半部分が音声だけになってしまったこと、参加者の皆さんにお詫び申し上げます。

【標語】

“あいさつは みんながえがおに なるんだよ”	池 上 榎 さん
“あいさつは なかをふかめる ひみつだよ”	北 澤 碧 翔 さん
“あいさつで みんな安全 明るいよ”	池 田 未 来 さん
“明るい浅川 みんな友だちになって どんなことでも乗り越えよう”	森 朔 さん
“仲良しは ふとしたときの 笑顔から”	加 藤 あおい さん
“あいさつは みんなを笑顔に する言葉”	宇 敷 颯 弦 さん

【作文】

「浅川を明るく元気にするために」	大 原 紗 耶 さん
「明るい浅川に向けてできること」	毛 利 咲 日 さん

「なかよし交流会（流しソーメン大会）」開催！～浅川地区保護司会～

保護司会は、更生保護女性会他の協力を得て、昨年に引き続き「なかよし交流会」を開催しました。

7月27日（土）、浅川団地自治会館前の広場で、浅川団地もりあげ隊や育成会の協力のもと、大勢の親子連れが訪れ、流しソーめんに舌鼓を打ちました。

8月3日（土）には、西条運動広場でも3回目の「西条なかよし交流会」が開かれました。猛暑の中でしたが大勢の区民が集い大盛況で、流しソーメンやかき氷を楽しみ、子どもたちは水鉄砲づくりに興じました。また当日は北部中学校の有志の生徒4名がボランティアとして参加して手伝ってくれました。

この行事は、保護司の大切な役割である青少年の健全育成を願い、犯罪のない明るい社会を目指すという犯罪予防活動の一環です。保護司会では「社会を明るくする運動 住民のつどい」と併せて、こうした活動を積極的に行っています。



【浅川団地の交流会の様子】



【西条区の交流会の様子】



【抜けるような夏空の下、流しソーメンや水鉄砲づくりを楽しみました】

浅川地区歴代民生委員・児童委員・主任児童委員交流会開催される



【徳竹会長のあいさつ】

8月3日（土）浅川公民館大会議室において、浅川地区歴代民生委員・児童委員・主任児童委員交流会が、最高齢92歳の小林仁子さん始め約40名の歴代委員が出席して開催されました。

徳竹貞夫民生児童委員協議会会長の挨拶に続いて、「長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”の土屋ゆかり所長の「悩みに寄り添うヒント～民生委員・児童委員が孤立しないために～」と題する講演があり、豊富な相談事例を掲げながら、委員それぞれの悩みに寄り添い孤立を防ぐための支援体制や制度について示唆に富むお話がありました。



【“まいさぼ長野市”土屋所長の講演】

講演後の交流・懇親会では高齢化が進む地域や変化する時代状況の中での委員活動の在り方などについて、それぞれの委員のこれまでの活動の苦労話が語られ、和気あいあいとした中にも今後の活動の糧となるような話し合いが行われ有意義な会となりました。



【交流会・懇親会の様子】



【出席した歴代委員のみなさん】

今年も“えごま”の植付け、“そば”の種蒔きを行いました！

～浅川地区遊休農地活性化委員会～

門沢の遊休農地で…

今年も門沢の遊休農地でえごまの植付けとそばの種蒔きを行いました。

遊休農地活性化委員会メンバーとJAながの職員10名余は7月23日（火）400本のえごまを植付け、堆肥を散布、8月6日（火）に散粒機でのそばの種蒔きに汗を流しました。

種蒔きと並行して圃場全体に電気柵を張り作業を終えました。

委員会の中心メンバーはいずれも70～80代。35度を超える猛暑の続く中、黙々と作業する姿には頭が下がる思いがしました。秋の実りを期待しましょう！みなさんお疲れさまでした。



【遊休農地活性化委員会のみなさん】



【えごまの植付け】



【堆肥散布】



【そばの種蒔き】



【電気柵を張りました！】



【一面に芽吹きました】

浅川ダム展望広場では農産物直売が毎月1回開かれています！

～7月27日には浅川ダム祭りも開催～

浅川ダム展望広場愛護会は浅川ダム竣工に合わせて展望広場の清掃・運営管理を浅川地区区長会が引き受けたのに伴って結成され、平成29年度から愛護会員有志による農産物直売が毎月1回（4月～11月）開かれています。それに合わせて浅川ダムを管理する県浅川改良事務所もダム見学会を行っています。

7月27日（土）国土交通省の「森と湖に親しむ旬間」（7月21日～31日）で県主催の「浅川ダム祭り」が行われ、愛護会の直売も協賛しました。

当日は、会員・協力者が持ち寄ったタマネギ、キャベツ、ジャガイモ、モロッコインゲン、ミニトマト、ナス、キュウリ、ジャンボピーマン、ボタンコショウ、ミズ菜、りんご、桃、スモモ、花リンゴジュース、はちみつ、カブトムシなどを販売、無料の綿菓子づくり体験、クワガタムシは、子供たちに大人気でした。

ダム祭りではダム探検や長野市民吹奏楽団によるアンサンブル演奏、ドローン操縦体験、長野高専生のサイエンスツアー（工作体験）など多彩な催しが行われ、地区内外から訪れた皆さんをお迎えしました。

愛護会では、今後展望広場において10月19日（土）、11月23日（土）に直売所を開設しますので、大勢のみなさんのお越しをお待ちしています。
（浅川ダム展望広場愛護会）



【新鮮野菜は格安！】



【カブトムシ・クワガタ、綿菓子づくりは大人気！】



【長野高専の工作体験】



【ドローン操縦体験～意外に簡単！？】



【長野市民吹奏楽団アンサンブルのみなさん、ありがとうございました】

北郷区で大掛かりな防災訓練行われる！

～区民が泊りがけて避難所体験も～

北郷区では自主防災組織が発足して3年目を迎えたことから、「自分の命を守り、家族を守り、地域コミュニティを大切に、地域のみんなの顔の見える関係を築き、『犠牲者ゼロ』を目指して、みんなで災害に立ち向かうこと」を目的として、8月24日（土）から25日（日）の朝にかけて大掛かりな防災訓練を行いました。

24日の午後4時30分にライフラインが途絶えたと同報無線放送が流れ、各組では非常時情報伝達訓練が始まり住民の安否確認、救出救護、そして避難誘導等などの訓練が開始されました。区民は三々五々ヘルメットや手袋を着用、活動しやすい服装で、ライトなど必要な機器を持ち北郷公民館に避難、また公民館まで距離がある竹ノ下地区は別に設置した一時避難所に避難しました。

住民の避難と並行して給食・給水班が炊出し訓練を実施、米に麺つゆを入れて鍋で炊いて非常食を作り避難した住民の食事にあてました。

公民館では東日本大震災時に岩手県大船渡市で被災した早川綾子さん（豊野町在）の体験談を聞きました。話の中で避難所で一番欲しかったものは「温かいもの」だったということ、災害発生時にはキャッシュカードが使えない場合があるので現金が必要だということなどが特に印象に残りました。

続いて長野市危機管理防災監の鎌田富夫さんの講話が行われ、地附山地滑りの際、救助を待つお年寄りがいるにもかかわらず撤退せざるを得なかったことから、心的外傷後ストレス障害（PTSD）に苦しんだことなど切実なお話を聞きました。

その後、長野市危機管理防災課主査の和田圭司さんの指導で5グループに分かれて“避難所の運営をいかにするか”という避難所運営ゲーム（通称：ハグ（HUG））を行い、避難所で起こりうる様々な事柄への対処方法を学習しました。

午後9時には、参加者の内約10人がトイレ以外の電気の使用を禁止し、避難所で泊りの疑似体験しました。

今回の防災訓練では、まだまだ住民一人ひとりの防災意識が低く役割分担がしっかり実行できなかったとも感じられましたが、地域の絆を強め災害に立ち向かう心構えを改めて強くする有意義な機会となりました。



【公民館に続々と避難する住民たち】



【東日本大震災の体験談を聞く】



【非常食をみんなで食べました】



【5グループに分かれて避難所運営ゲームを行いました】



共に生きる



浅川地区生活支援体制整備事業「検討会」活動報告

《活動報告・その1》

✎ 検討会

毎月第1水曜日AM9:30～開催。検討会メンバー21名で、理想の地域像「安心して住み続けられる浅川」を目指し地域課題について協議を行っています。

現在は「浅川版・支え合い活動計画」策定に向け、

『重要5項目』

- ① あいさつ
- ② 相談・見守り
- ③ 移動支援
- ④ 身近な生活支援
- ⑤ 集いの場・健康づくり



についてグループワークを行い、検討会として取り組める事・取り組めそうな事を話し合っています。10月検討会にはすべての項目についてワークを終了させる予定です。



《活動報告・その2》

✎ 地域福祉懇談会

今年度も地域福祉懇談会の開催をお願いし、9月末の時点で19地区中15地区に開催をして頂きました。ご協力ありがとうございましたm(_)_m

今年度は昨年の福祉懇談会でお聞きした現状・課題・理想の地域像を踏まえ、各地区の「理想の地域像に近づける為に、今自分たちにできる事・できそうな事」をテーマに意見交換をさせて頂きました。

☆コミュニケーション…*返事が無くても自分からすすんで「あいさつ」をしてみよう。

*役員決めの時だけでなく、年に数回は隣組会を開催し情報交換をしてみよう。

☆サロン活動…*開催回数を増やしたり、内容をイベント化するなど工夫をし、拡大・拡充をしてみよう。

☆健康づくり…*「はつらつ体操」を試してみよう。

(介護予防)*夏休みだけでも育成会の子も達と一緒に「ラジオ体操」をしてみよう。

※上記のご意見は各地区での地域福祉懇談会の内容を抜粋したものです。



移送協力会員さんの1日

福祉移送協力会員さん8名で
年間約1000件の福祉移送に対応。
毎日笑顔で活躍中です。

時間	内容
8:30	コーディネーターと運行確認・健康チェック (お茶を飲みながら楽しくコミュニケーション)
8:45	車の点検・点呼 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 気を付けて いっぺんしゃい!! </div>
9:00	支所出発 ↓ 利用者さんのお宅に到着 ↓ 利用者さんをお乗せし、病院へ出発 ↓ 病院到着 ↓ 次の運行へ
12:00~ 13:00	お昼休み
	病院に到着 ↓ 利用者さんをお乗せし、ご自宅へ戻ります ↓ 利用者さんのご自宅に到着
16:00	運行終了 運行後点呼 (運転後の車の様子確認・ 利用者さんの様子や病院・道路状況等確認およびコミュニケーション)



福祉移送「ふくちゃん号」について

《利用者さん》

公共交通機関（バス等）に乗る事が困難な方等を医療機関まで送迎します。

《協力会員さん》

特別な資格は必要ありませんが、指定の講習（2日間）を受けて頂きます。



1号車
車椅子用リフト
装備!



2号車
車椅子用スロープ
装備!



トピックス

スパイラルで草刈り行われる！

8月24日（土）スパイラル（ボブスレー・リュージュパーク）で草刈りが行われました。

市スポーツ課から協力要請があり、市の職員に加えて住自協常任評議委員会、「あさかわ里山と森を守る会」、「スパイラル友の会」のOBほか有志のみなさん17名が参加し、9時から約1時間半、精力的に作業を行いました。



【作業を終えたみなさん、お疲れさまでした！
（スパイラル管理棟の前で）】

その他の主な事業・活動

報告（8～9月）

☆浅川小学校じゃがいも収穫体験 8月27日（火）

☆浅川地区市民運動会 9月1日（日）

開会式後、雨が降り出し心配しましたが、無事全競技終わることができました。
競技結果は以下のとおり。

優 勝：神楽橋公民館
準 優 勝：浅川東条公民館
第 3 位：浅川西条公民館
ブービー賞：浅川清水公民館
特 別 賞：伺去公民館・屋敷田公民館



【勢揃いした各区の選手のみなさん】

☆浅川地区防災訓練 9月28日（土） ※記事は次号掲載

予定（10～11月）

☆浅川地区戦没者追悼式 10月12日（土）

☆秋の史跡めぐり（浅川公民館） 10月26日（土）

☆「ようこそ市長室へ」 10月28日（月）

☆第39回浅川地区ゆうわ祭 11月3日（日）

広報委員から

西条区で開催されました「なかよし交流会」に、私も準備・お手伝いで参加させていただきました。中学校の生徒さん4名がボランティアで、かき氷を作ってくれたり、竹の水鉄砲で子ども達と遊んでくれたりと異なる年齢間での交流が持てました。地域の皆様とふれあい、子ども達のたのしみ姿と笑顔を見ることができ、とてもうれしく思いました。

少子化となり、異なる年齢間での交流の機会を持つことが難しいと感じている折、このような交流会を開いていただけることは地域の皆様のご支援とご協力のおかげと感謝しております。「せせらぎ」の場を借りて改めてお礼申し上げます。

今後とも、子ども達の健全育成のため、温かいご指導とお力添えをいただくと幸いに存じます。

広報委員 次世代育成部会 傳田桃子（育成会長）